

# 《資料館便り》

平成 29 (2017) 年  
10月号



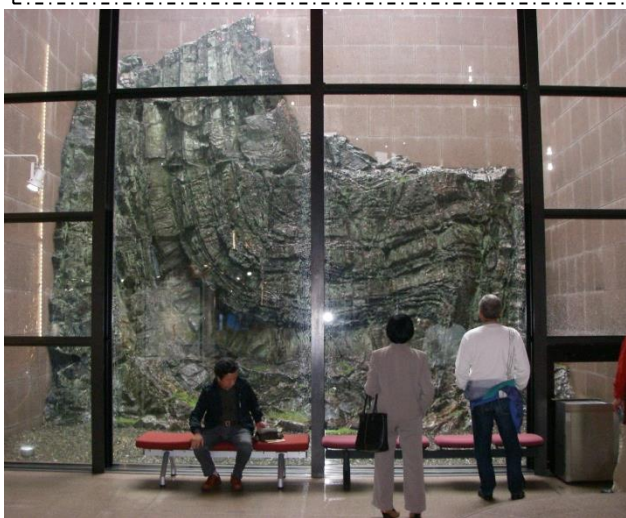
石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974)年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館  
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

## 「鉱物教室」移動研修！ ～岩石・鉱物の素晴らしさを実感～



↑ 雨天でも多数の人出 (茨城県自然博物館)



↑ 巨大な地層の褶曲 (地質標本館)

いを、日本の地質、地下資源、海洋の地質などのテーマごとに展示しています。

「鉱物教室」のメンバーは、わが国最高で、しかも、最新の研究成果に感心し、大変充実した「移動研修」となりました。

「鉱物教室」は、10月下旬、「移動研修」として茨城県の「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」(坂東市)と、「産業技術総合研究所 地質標本館」(つくば市)の二つの施設を見学しました。

「ミュージアムパーク茨城県自然博物館」は、平成6年(1994)に開館した自然に関する総合的な教育施設です。首都圏にあり、しかも、交通の便にも恵まれているため、年間40万人以上の参観者がある人気の博物館です。

当日はあいにくの雨模様でしたが、「鉱物教室」のメンバーは岩石や鉱物はもちろん、地球の私たち、自然のしくみ、生命のしくみ、人間と環境など、さまざまな分野の展示を見学できました。

「産業技術総合研究所 地質標本館」は、130年も前に出来た地質調査所が前身の施設です。

地球科学専門の博物館で、地球と人との関わり合



↑ すばらしい展示の様子 (地質標本館)